

宮城広瀬高等学校

校訓 自律 自照 自愛



1 基本データ

創立：昭和58年
課程・学科：全日制課程・普通科
生徒数：621名
所在地：〒989-3126
仙台市青葉区落合4丁目4番1号
TEL：022-392-5512
FAX：022-392-5513

ホームページアドレス：
<https://hirose-h.myswan.ed.jp/>
電子メールアドレス：
hirose-h@od.myswan.ed.jp
主な交通機関：
JR仙山線：陸前落合駅下車 徒歩7分
仙台市営バス：「愛子・作並方面行き」広瀬高校前下車 徒歩2分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

がんばりを認め、伸ばしていく学校

「生徒理解」「場の支援」「言葉の大切さ」をキーワードとし、生徒一人一人にあった丁寧な指導、多様な教育活動を実施しています。個々の「がんばり」を認め、やる気を引き出して伸ばしていきます。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は昭和58年4月に開校した全日制課程の高等学校です。広瀬川の清流に近い仙台市西部に位置し、南には蕃山、北方には船形山を望む豊かな自然環境の中にあります。

校地内には、校舎・体育館のほか、400mトラック兼サッカー場、野球場、ソフトボール場、ハンドボール場(2面)、トレーニングハウスがあります。また、平成19年2月には開校20周年記念事業の一環として清流館(多目的施設)が完成し、平成25年度には弓道場・武道館・食堂および駐輪場を備えた武道館棟に加え、全天候型のテニスコート(4面)、プールおよび部室棟も新たに整備されました。

JR仙山線陸前落合駅から徒歩7分という交通の便に恵まれた立地環境であり、在籍する生徒の通学範囲は仙台地区を中心にJR沿線を拠点として広範囲に及んでいます。

(2) 教育方針

心身ともに健全で、知・徳・体の調和がとれ、社会に貢献できる、有能な人材を育成する。

(3) 教育課程の特徴

【教育課程】

本校は全日制課程普通科の高等学校で、定員は240名、6学級です。卒業後の進路は大学・短大、専門学校、就職と多様であることから、個々の進路希望に対応できるよう幅広い選択科目を設置し、教育課程を編成しています。授業は50分で、月曜、火曜、木曜、金曜は6時間授業、水曜は7時間授業を実施しています。

【学習内容】

1・2年次では基礎学力の定着に重点を置

き、生徒が幅広い分野にわたって学習できるよう必修科目を中心に設置しています。また、1年次では「数学Ⅰ」、「英語コミュニケーションⅠ」で、2年次では「数学Ⅱ」、「英語コミュニケーションⅡ」で習熟度別に授業を実施し、一人一人にあった丁寧な指導を行っています。

3年次には進路希望に応じた多様な選択科目を設置し、進路実現に向けた学習ができるよう配慮しています。理系と文系のコースを設け、大学進学を希望する生徒から、専門学校進学希望者、就職・公務員等を希望する生徒それぞれに対してきめ細かな指導体制を整えています。商業や家庭、総合的な探究の時間では、外部指導者との連携による授業など、多様な教育活動を実施しています。

また、生徒の「がんばり」を認める機会として、漢字検定や数学検定及び英語検定をはじめ、多くの科目で技能審査の成果に応じた単位を認定しています。また「社会体験」という学校設定教科では、「ボランティア活動」「インターシップ活動」という科目を設け、所定の手続きを行った上で一定の時間数以上の活動が認められた場合に、学年末に単位を認定しています。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

【学校行事】

スポーツフェスティバル、広高祭、芸術鑑賞会、大学・企業見学会(1年次)、修学旅行(2年次)等を例年実施しています。

【生徒会活動】

対面式、部活動紹介、生徒総会、学校説明会をはじめ、様々な学校行事で中心的な役割を担っています。

【ボランティア活動】

本校では生徒の自主的活動として多様なボランティア活動が行われています。活動にあたっては、活動計画書の作成、また、事後には報告書を作成し、活動の記録を蓄積しています。これらの活動が参加者の財産となり、保育士などの進路につながるものとなっています。

【部活動】

令和5年度の主な実績は次のとおりです。

《剣道部》

・宮城県高等学校総合体育大会剣道大会
男子個人 ベスト16

《茶華道部》

・小原流学生いけがな競技会
北海道・東北地区大会 団体の部 第3位
個人の部 審査員特別賞、優秀賞

《書道部》

・宮城県高等学校書道展覧会
金賞5名、入選1名
《放送部》
・宮城県高等学校放送コンテスト
ラジオキャンペーン部門 優良賞

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R5	R4	R3
国公立大学	0	1	0
国公立短大	0	0	0
私立大学	66	56	92
私立短大	18	23	22
専各学校	80	84	95
就職	46	26	41
その他	9	9	13
卒業生計	219	199	263

主な進路先(令和6年3月卒業生)

()内は人数 (1)は省略。

<私立大学> 東北学院大学(10)、東北工業大学(8)、宮城学院女子大学(12)、仙台白百合女子大学(2)、東北福祉大学(7)、仙台大学、尚絅学院大学(8)、東北化学工業大学(9)、東北生活文化大学(2)、仙台青葉学院大学(3)、石巻専修大学、城西国際大学、創価大学、駒沢女子大学、

<私立短大> 聖和学園短期大学(9)、仙台青葉学院短期大学(8)、武蔵丘短期大学

<専各学校> 仙台徳州看護専門学校、葵会仙台看護専門学校(3)、仙台市医師会看護専門学校(3)、赤門自動車整備専門学校、東日本航空専門学校、東北電子専門学校(7)、宮城高等歯科衛生士学院(2)、仙台リハビリテーション専門学校(5)、仙台医療秘書福祉専門学校(5)、宮城調理製菓専門(2)、宮城文化服装専門学校(2)、仙台ビューティーアート専門学校(9)、仙台理容美容専門学校(3)、仙台幼児保育専門学校、仙台大原簿記情報公務員専門学校(2)、仙台ウェディング&ブライダル専門学校(5)、仙台総合ペット専門学校(3)他

<就職> 自衛隊、宮城県警、トヨタ自動車東日本株式会社(2)、株式会社いたがき(2)、日本通運株式会社仙台支店(2)他

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

各種検定について

以下の検定は、単位認定の対象となっており、多くの生徒が資格取得に向けて勉強に励んでいます。これ以外にも学校で受験出来る検定が多くあり、3級に合格して自信をつけてから、さらに上の級に挑戦する生徒の姿も多く見られます。

◆R5合格者数一覧

検定名称	該当級	合格者数	単位数
実用英語技能検定	3	3	
	準2	2	
	2	1	2
日本漢字能力検定	3	7	
	準2	7	1
	2	0	2
ビジネス文書実務検定※	3(両部門)	11	
	3(文書部門)	1	
	3(速度部門)	13	
	2(両部門)	1	
	2(速度部門)	1	
	1(速度部門)	1	(2)※

※ビジネス文書実務検定は、文書・速度の両部門に合格することで、該当する級を合格したことになります。

ボランティア活動

今年度も、各授業や部活動で活発にボランティア活動が行われました。令和5年度の活動を抜粋して掲載します。

《生活研究部》

- ・文化祭で食品販売した売上金を、フードバンク仙台へ生徒指導部を通じて寄付
- ・食品寄付を募り、フードバンク仙台（五橋）へ寄付

《奉仕活動部》

栗生児童館・広瀬マイスクール児童館への週2回の訪問による子供達との活動

《バドミントン部（男・女）》

令和5年度 落合市民センター主催
「いってみよう！ やってみよう！ 広高タイム 教えてバドミントン」
小学生を対象に、講師として参加

《野球部》

雪道おたすけ隊 陸前落合駅～宮城広瀬高校間を中心に除雪作業

《放送部》

第35回宮城地区まつり 司会ボランティア

(2) 学校制服紹介

2016年4月に生徒や教職員の意見を取り入れ、制服のリニューアルを行いました。着用のしやすさや素材等も見直し、生徒の間でも好評です。

落ち着いた色調の紺のブレザー、チェックのスカート・スラックスが特徴です。女子用スラックスも導入しています。



(3) 写真で見る学校生活

テーマ「広高祭完全復活 ～創立40周年～」

令和5年9月1日（金）、2日（土）の2日間にわたり、文化祭が開催されました。昨年度から、有志団体の発表や模擬店を含む一般公開が復活し、今年度はさらなる盛り上がりを見せていました。その他、「広高ミス・ミスター」や有志団体発表、演劇部公演などとても見応えのある内容でした。



広高祭（花火）



生活研究部 フードバンク活動

「広高タイム」

本校では、SHR前後の時間を広高タイムと呼んでいます。朝の10分間の広高タイムは、読書をしたり、テーマに関する新聞記事を読んで作文を書いたり、様々な活動に取り組んでいます。

考査前は、各教科で放課後広高タイムが実施され、生徒は自由に参加することができます。分からない問題について質問したい人や、もう一度試験範囲の内容を復習したい人など、多くの生徒が放課後広高タイムを活用しています。



総体壮行式（応援団）

「応援団」

総体壮行式や部活動応援など、校内外で活躍しています。生徒会執行部に所属していない生徒も、応援団に所属することができます。

「楽天観戦」

令和5年5月10日（水）、楽天命パーク宮城にて、オリックス戦を全校生徒で観戦しました。試合がよく見える席で、応援にも力が入りました。



楽天観戦

4 在校生からのメッセージ

令和6年度在校生からのメッセージです。

「目標」

3年 佐藤 聖祐さん（住吉台中出身）

私は、主に生徒会活動に力を入れて学校生活を送っています。生徒会執行部に入りたての頃は、中学生の時と比べると全く勝手が違い、最初は先輩の仕事を見様見真似で手伝うことがやっとでした。3年生になって生徒会長を務めることになり、学校全体をまとめるリーダーとして、より自分の行動に責任感をもつようになりました。

これからの宮城広瀬高校をより良いものにできるように、一緒に頑張っていきたいと思います。

「独りじゃない」

2年 菅原 信也さん（北仙台中出身）

私は、宮城広瀬高校に入学して、生徒会執行部に入りました。初めての環境で不安もありましたが、先生方や頼りになる先輩方に支えられ、すぐに馴染むことが出来ました。今では、自分の役割に責任を持ち、やり遂げることができるようになりました。また、活動をしていく中で、互いに協力し合える仲間の大切さに気づきました。一人で物事を行うと行き詰まってしまうことも多いですが、協力し合えば自分が考えもつけない方法を見つけることもでき、視野も大きく広がります。高校生活では、支え合える仲間づくりが一番大切ですよ。